

## 2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月9日  
東

上場会社名 日本カーボン株式会社  
コード番号 5302  
代表者(役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者(役職名) 業務統括部長  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所

URL <https://www.carbon.co.jp>

(氏名) 宮下 尚史

(氏名) 藤川 浩史

(TEL) 03(6891)3730

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	7,958	△5.7	1,289	△20.5	1,209	△31.3	674	△30.5
2024年12月期第1四半期	8,438	9.7	1,621	29.5	1,760	37.1	969	28.8

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 623百万円(△71.6%) 2024年12月期第1四半期 2,198百万円(55.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	60.96	—
2024年12月期第1四半期	87.77	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	81,395	60,143	63.2	4,649.50
2024年12月期	82,348	60,819	63.2	4,704.60

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 51,405百万円 2024年12月期 52,014百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	6.4	3,000	△11.6	3,000	△20.5	1,800	△21.5	162.81
通期	40,000	5.4	6,500	2.9	6,800	1.6	4,100	0.5	370.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期1Q	11,832,504株	2024年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2025年12月期1Q	776,336株	2024年12月期	776,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期1Q	11,056,168株	2024年12月期1Q	11,043,774株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナや中東における地政学リスクが継続する中で、米国政府による関税引上げ方針の表明が各国に影響を与え、不確実性が増加しました。製造業においては、関税引上げ前の駆け込みによる需要増で生産拡大が見られたものの、個人消費は下押しの傾向にあり、全体として景気の不透明感は強まっております。

こうした事業環境の中、当社グループは、2025年を初年度とする中期経営方針「GO BEYOND 2030」に基づき、「収益性の向上」、「サステナビリティ経営の推進」及び「株主還元強化」に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が79億5千8百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。損益は、営業利益12億8千9百万円(前年同四半期比20.5%減)、経常利益12億9百万円(前年同四半期比31.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億7千4百万円(前年同四半期比30.5%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## (炭素製品関連)

ファインカーボン関連製品につきましては、半導体関連市場の欧州、中国を中心とした景気低迷による設備投資の抑制並びにEV市場の減速による受注減により、販売量が減少いたしました。電極材関連製品につきましては、市況低迷が継続している中、製造コスト削減と売価是正に取り組みました。

この結果、売上高は67億2千4百万円(前年同四半期比14.3%減)、営業利益は7億9千9百万円(前年同四半期比45.8%減)と減収減益になりました。

## (炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維製品につきましては、航空産業向けの販売量が好調に推移しました。

この結果、売上高は9億9千7百万円(前年同四半期比167.4%増)、営業利益は4億2千5百万円(前年同四半期比303.9%増)と増収増益になりました。

## (その他)

その他の事業につきましては、産業用機械において資材価格やエネルギー価格が高止まりする中で、製造コストの削減と適正価格による販売に努めた結果、収益性が改善しました。

この結果、売上高は2億3千5百万円(前年同四半期比6.2%増)、営業利益は6千2百万円(前年同四半期比65.4%増)と増収増益になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億5千3百万円減少し、813億9千5百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産の増加15億3千6百万円がありましたが、現金及び預金の減少16億4千1百万円、売上債権及び契約資産の減少15億2千7百万円等により、前連結会計年度末に比べ19億6千万円減少し、443億5千9百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の増加6億4千5百万円等により、前連結会計年度末に比べ10億6百万円増加し、370億3千5百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億7千8百万円減少し、212億5千1百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加5億2千万円、短期借入金の増加4億8千9百万円がありましたが、流動負債のその他の減少8億4千4百万円、未払法人税等の減少6億6百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億6千1百万円減少し、182億7千7百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少3千6百万円等により、前連結会計年度末に比べ1千6百万円減少し、29億7千4百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益6億7千4百万円がありましたが、配当金の支払11億5百万円、為替換算調整勘定の減少1億9百万円、その他有価証券評価差額金の減少6千1百万円等により、前連結会計年度末に比べ6億7千5百万円減少し、601億4千3百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降の世界経済は、緩やかな成長が続くと見ておりますが、米国の関税政策が打ち出されたことで、先行きの不透明感是一段と高まりを見せています。しかしながら、当社関連市場への販売活動強化や持続的な製造コスト削減活動により、今後の業績は改善する見込みです。

よって、連結業績予想につきましては、2025年2月10日の「2024年12月期 決算短信」において、公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,299	10,657
受取手形、売掛金及び契約資産	11,277	9,750
電子記録債権	1,927	1,817
商品及び製品	11,301	11,919
仕掛品	4,543	5,106
原材料及び貯蔵品	3,991	4,346
未収還付法人税等	27	27
その他	964	745
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	46,319	44,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,096	19,515
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,586	△11,721
建物及び構築物（純額）	7,509	7,794
機械及び装置	51,150	52,786
減価償却累計額及び減損損失累計額	△42,339	△42,809
機械及び装置（純額）	8,811	9,976
車両運搬具及び工具器具備品	4,230	4,335
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,446	△3,516
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	784	819
土地	3,575	3,561
建設仮勘定	2,183	1,358
有形固定資産合計	22,863	23,509
無形固定資産	182	162
投資その他の資産		
投資有価証券	10,431	10,581
繰延税金資産	599	670
その他	1,953	2,113
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	12,982	13,363
固定資産合計	36,029	37,035
資産合計	82,348	81,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,435	3,955
電子記録債務	653	546
短期借入金	9,016	9,506
未払費用	504	443
未払法人税等	1,165	558
前受金	270	381
賞与引当金	237	521
役員賞与引当金	64	16
受注損失引当金	—	0
その他	3,191	2,346
流動負債合計	18,538	18,277
固定負債		
長期借入金	196	160
繰延税金負債	1,570	1,568
退職給付に係る負債	698	717
役員退職慰労引当金	36	39
役員株式給付引当金	60	61
環境対策引当金	0	0
資産除去債務	62	62
その他	365	362
固定負債合計	2,990	2,974
負債合計	21,529	21,251
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,858	7,858
利益剰余金	34,454	34,023
自己株式	△1,969	△1,969
株主資本合計	47,745	47,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,921	3,859
為替換算調整勘定	336	226
退職給付に係る調整累計額	11	5
その他の包括利益累計額合計	4,268	4,091
非支配株主持分	8,804	8,737
純資産合計	60,819	60,143
負債純資産合計	82,348	81,395

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	8,438	7,958
売上原価	5,595	5,439
売上総利益	2,843	2,518
販売費及び一般管理費	1,221	1,229
営業利益	1,621	1,289
営業外収益		
受取賃貸料	6	5
為替差益	100	—
受取保険金	—	33
持分法による投資利益	33	48
その他	66	19
営業外収益合計	206	106
営業外費用		
支払利息	10	24
為替差損	—	100
固定資産除却損	12	9
休止固定資産減価償却費	36	44
その他	8	6
営業外費用合計	67	186
経常利益	1,760	1,209
税金等調整前四半期純利益	1,760	1,209
法人税、住民税及び事業税	592	416
法人税等調整額	17	△54
法人税等合計	609	362
四半期純利益	1,150	846
非支配株主に帰属する四半期純利益	180	172
親会社株主に帰属する四半期純利益	969	674



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	1,150	846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	991	△63
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	65	△175
退職給付に係る調整額	△10	14
その他の包括利益合計	1,047	△223
四半期包括利益	2,198	623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,993	386
非支配株主に係る四半期包括利益	204	236

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による当第1四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となります。なお、当該会計方針の変更に伴う該当事項はなく、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(取締役に対する株式給付信託(BBT)導入)

当社は、取締役の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(1)取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に對して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2)信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は164百万円、株式数は468百株、当第1四半期連結会計期間の期中平均株式数は468百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
ファインカーボン関連製品	5,810	—	—	5,810	—	5,810
電極材関連製品	2,032	—	—	2,032	—	2,032
炭化けい素関連製品	—	373	—	373	—	373
その他	—	—	222	222	—	222
顧客との契約から生じる 収益	7,843	373	222	8,438	—	8,438
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,843	373	222	8,438	—	8,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8	68	77	△77	—
計	7,843	381	290	8,516	△77	8,438
セグメント利益	1,474	105	37	1,617	4	1,621

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
ファインカーボン関連製品	4,644	—	—	4,644	—	4,644
電極材関連製品	2,080	—	—	2,080	—	2,080
炭化けい素関連製品	—	997	—	997	—	997
その他	—	—	195	195	—	195
顧客との契約から生じる 収益	6,724	997	195	7,918	—	7,918
その他の収益	—	—	40	40	—	40
外部顧客への売上高	6,724	997	235	7,958	—	7,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	8	115	124	△124	—
計	6,725	1,005	351	8,082	△124	7,958
セグメント利益	799	425	62	1,286	2	1,289

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。  
なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	674百万円	806百万円